

令和7年度

# 学校評価

集計結果

北海道帯広聾学校学校評価委員会

令和7年度 北海道帯広聾学校 学校評価（教職員）集計

配布数 20

評価項目：A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

回収数 20 回収率 100%

項 目		評 価 項 目	A	B	C	D	E	
			4	3	2	1	0	
教育の重点について		(1) OJTとメンタリングによる研修と対話を深め、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業力の向上に努める。	2	16	1	0		
		(2) 適切な実態把握と聴覚障がい教育の専門性の充実に努める。	6	11	2	0		
		(3) 発達の連続性を踏まえ、切れ目のない支援と一貫性のある教科指導力・生徒指導力の向上に努める。	4	12	2	0		
		(4) 他の障がい種の知見を広げ、子どもたちの特性を踏まえた指導・支援に努める。	5	10	3	0		
		(5) プログラミング的思考の育成と、体験的な学習のバランスを取りながら、ICT活用等による授業改善及び授業実践に努める。	1	12	5	0		
		(6) 非認知能力を伸ばし、「生きる力」の育成に努める。（自己肯定感、忍耐力、協調性、好奇心、やり抜く力、コミュニケーション力、体力の向上等）	5	14	0	0		
経営の重点について		(7) 心理的安全性を保障した組織づくりと教職員及び幼児児童生徒のウェルビーイングの向上に努める。	8	11	1	0		
		(8) 安全で安心な学校の環境づくりと指導の充実（防災・防犯、人権意識、包括的性教育、食育、学校保健、各種感染症予防）及びいじめ防止等の組織的な対応に努める。	10	10	0	0		
		(9) 保護者や地域、関係機関及びろう・難聴者との連携強化に努める。	8	12	0	0		
		(10) 「コミュニティ・スクール」（学校運営協議会）を活用し、社会に開かれた学校づくりと地域と連携した教育活動に努める。	6	13	0	0		
		(11) 教職員が自ら効率的な働き方を具体的に見直し、メンタルヘルスの充実を図り、質の高い教育実践に努める。	5	11	4	0		
		(12) 十勝の聴覚障がい教育のセンター的機能の役割を推進し、校内外の支援の充実に努める。	8	11	1	0		
学校	1	学校経営について	(13) 学校教育目標の実現に向けて、各分掌・学部で重点目標、具体的方策、年間計画が設定されている。	8	10	1	0	
			(14) 学校の教育理念や幼児児童生徒、保護者、地位の実態を考慮して経営方針・教育方針を設定している。	11	8	0	0	
			(15) 保護者や地域へ、積極的に学校情報を発信し、相互の理解や協力を深めている。	7	12	0	0	
			(16) 全教職員が互いに協働し、機能的、組織的な学校運営に努められている。	7	12	1	0	
	2	教育課程について	(17) 教育課程は幼児児童生徒の実態に応じて適切に編成されている。	11	8	0	0	
			(18) 幼児児童生徒の活動や学習については、客観的な評価や評定などが行われている。	9	10	0	0	
			(19) 学習指導要領の内容を理解し、各教科・領域ごとの年間指導計画が作成され実施されている。	7	12	0	0	
			(20) 学校行事は、幼児児童生徒の実態や学習のねらいなどに即して適切に実施されている。	9	10	0	0	

運 営 に つ い て	3	生徒指導について	(21)	学校全体の共通理解のもと、生徒指導が進められている。	5	13	0	0	
			(22)	人権についての理解を深め、互いを尊重する意識と態度を育てる指導がなされている。	5	14	0	0	
			(23)	いじめや体罰を根絶する意識を高め、指導にあたっている。	12	6	0	0	
			(24)	自ら考え、自主的・創造的に行動ができ、幼児児童生徒の力が発揮できるように指導を工夫している。（児童生徒会行事を含む）	7	11	0	0	
	4	学校保健・食育について	(25)	養護教諭を中心に、幼児児童生徒の生活や健康状態を十分に把握し、適切な健康管理が行われている。	15	3	0	0	
			(26)	給食は幼児児童生徒の好みや健康などを考えて、献立や調理の工夫がなされている。	16	3	0	0	
			(27)	日常的に、保健指導、食育指導がなされている。	13	5	0	0	
	5	事務・学校予算について	(28)	各種予算の透明化が図られ、学校教育目標や重点目標、経営方針に沿った予算執行が行われている。	9	11	0	0	
			(29)	全教職員がコスト意識（費用や効果）をもって、組織的、計画的に業務に当たっている。	3	13	4	0	
			(30)	事務の業務は、関係する教職員と連携・協力を図りながら進められている。	13	7	0	0	

○ 教育の重点について

- ・学習発表会で、子ども達の達成感を生ませた先生方を見て生きる力を育んでいると感じた。
- ・今後も聴覚障害だけでなく他の障害の傾向（特性）についても踏まえた上で、指導支援する必要があると考える。
- ・少人数なため、個別の指導が充実している。

○ 経営の重点について

- ・難聴児支援や関係機関訪問で担当者に広く本校の役割をお伝えしていること

○ 学校運営について

1 学校経営について

- ・北聴研や学習発表会では全職員が協働していた
- ・職員間で建設的な話し合いができています
- ・個の責任で行っている業務が多く、組織で行っていないため、年度や担当者によって業務内容が変わることが多い。個で決定せず、昨年度までの内容との変更点を明らかにしておくこと、担当者間、学部会、分掌部会で検討をし、内容の確認や複数で内容を把握することを意識していく必要がある。

2 教育課程について

### 3 生徒指導について

- ・児童生徒会行事は児童生徒が少ない人数の中状況に応じた工夫を取り入れて行なっていると思う。
- ・年間指導計画を基に計画的に授業を進める必要がある。時間と手間をかけて作成しているため、作成で終わらず、学習内容の見直しや単元の計画、評価も含めて、年間指導計画を意識して学習を進めて欲しい

### 4 学校保健・食育について

- ・巡回を丁寧に行われている、また、掲示物が定期的に変更し季節の話題に興味を引くようになっている。
- ・給食のメニューは、季節や行事を踏まえて色々なメニューが用意されていて、とても感謝します。
- ・幼児児童生徒が興味を持つことができる保健指導、食育指導をしていただいている。
- ・毎日子どもの様子を見に来てくださり、コミュニケーションをとってくださることがありがたい。

### 5 事務・学校予算について

- ・節電に対する意識を高める必要がある。
- ・事務からのお知らせは、コストを考える機会になっている。
- ・一人一人の無駄を減らそうとする意識はまだ薄いと思う。教室のドアの開け閉め、使用していない教室の消灯、印刷用紙の節約などできることはもっとあるはずだと思う。
- ・もっと節約の意識をする必要があると思う（用紙、インク、冷暖房、電気など）。
- ・会議資料や配布資料などで、必要以上にプリントされている例が散見されます。せっかくpublicやドライブがあるので、そちらに保存し、閲覧してもらう方式がもっと広がれば紙使用の削減につながると思います。

### ○ その他、ご意見のある方は記入してください。

- ・6時間の授業があるときのグループ研は決まって休憩時間に割り込んでしまっている。考えられる方法として、水曜日の会議のない日にグループ研を入れたり、2ヶ月に1回程度4時間授業、下校13時30分にして、会議を二本立てにすると良いのではないかと考える。例；職員会議13時40分～14時40分、グループ研15時00分～16時00分

令和7年度 北海道帯広聾学校 学校評価（小学部1～3年）集計

配布数 4

評価項目：A：そうおもう B：だいたいそうおもう C：あまりそうおもわない D：そうおもわない E：わからない

回収数 4 回収率 100%

評 価 項 目		A	B	C	D	E
		4	3	2	1	0
(1)	学校は たのしい。	4	0	0	0	0
(2)	みんなに あいさつをすることができる。	4	0	0	0	0
(3)	友だちと なかよくしている。	3	1	0	0	0
(4)	先生は わかりやすく おしえてくれる。	3	1	0	0	0
(5)	先生は よく はなしを きいてくれる。	4	0	0	0	0
(6)	学校の べんぎょうは よくわかる。	2	2	0	0	0
(7)	先生は こまったときに たすけてくれる。	3	1	0	0	0
(8)	すき きらいをしないで きゅうしょくを たべている。	4	0	0	0	0
(9)	本を よむことが すき。	4	0	0	0	0
(10)	ゲームやスマホの 時間を きめている。	3	0	0	1	0
(11)	あさごはんを まいにち たべている。	4	0	0	0	0
(12)	よる 9時まで に ねている。	2	0	0	2	0
(13)	おうちの人と がっこうのことなどを はなしている。	3	1	0	0	0
(14)	おうちの おてつだいを している。	1	3	0	0	0
(15)	言いたいことがあったら、かいてください。					
	・もっとべんぎょうをいっぱいやりたいです。					

令和7年度 北海道帯広聾学校 学校評価（小学部4～6年）集計

配布数 2

評価項目：A：そうおもう B：だいたいそうおもう C：あまりそうおもわない D：そうおもわない E：わからない

回収数 2 回収率 100%

評 価 項 目		A	B	C	D	E
		4	3	2	1	0
(1)	学校に行くのが楽しい。	2	0	0	0	0
(2)	自分からあいさつをすることができる。	1	1	0	0	0
(3)	友だちと仲よくしている。	2	0	0	0	0
(4)	先生たちは教え方をいろいろ工夫している。	2	0	0	0	0
(5)	先生たちは意見を聞いてくれる。	1	1	0	0	0
(6)	先生は困ったときに話を聞いてくれる。	1	0	0	1	0
(7)	好き嫌いをしないで給食を食べている。	0	2	0	0	0
(8)	命の大切さや社会のルールについて学習している。	0	2	0	0	0
(9)	担任の先生の他にも相談できる先生がいる。	1	1	0	0	0
(10)	できるだけ本を読むようにしている。	1	0	0	1	0
(11)	ゲームやスマホの時間を決めている。	1	0	0	1	0
(12)	朝ごはんを毎日食べている。	2	0	0	0	0
(13)	夜10時までに寝ている。	2	0	0	0	0
(14)	家族と学校のことなどいろいろ話している。	0	2	0	0	0
(15)	家の手伝いをしている。	0	0	2	0	0
(16)	将来のことについて考えることがある。	2	0	0	0	0
(17)	意見があれば、書いてください。					

令和7年度 北海道帯広聾学校 学校評価（中学部）集計

配布数 2

評価項目：A：そうおもう B：だいたいそうおもう C：あまりそうおもわない D：そうおもわない E：わからない

回収数 2 回収率 100%

評 価 項 目		A	B	C	D	E
		4	3	2	1	0
(1)	学校に行くのが楽しい。	2	0	0	0	0
(2)	自分からあいさつをすることができる。	1	0	1	0	0
(3)	仲間とともに学び合う学習を行っている。	2	0	0	0	0
(4)	先生方は教え方にいろいろな工夫をしている。	2	0	0	0	0
(5)	先生は私たちのことをよく理解してくれる。	1	1	0	0	0
(6)	（自分は）敬語など正しい言葉遣いをしている。	0	1	1	0	0
(7)	給食はおいしい。	2	0	0	0	0
(8)	命の大切さや社会のルールについて学習している。	2	0	0	0	0
(9)	担任の先生の他にも、気軽に相談できる先生がいる。	0	2	0	0	0
(10)	できるだけ本を読むようにしている。	0	2	0	0	0
(11)	規則正しい生活を心がけている。	1	0	1	0	0
(12)	学校のことなど家族といろいろ話している。	1	0	1	0	0
(13)	家の手伝いをしている。	1	0	1	0	0
(14)	将来の職業（仕事）について考えることがある。	1	0	1	0	0
(15)	1日の睡眠時間はどれに近いですか。 A：6時間未満 B：6～7時間 C：7～8時間 D：8時間以上	0	0	1	1	0
(16)	1日のゲームやスマホを見る時間はどれに近いですか。 A：1時間未満 B：1～2時間 C：2～3時間 D：3時間以上	0	0	1	1	0
(17)	学校以外での平日の平均学習時間はどのくらいですか。 A：1時間未満 B：1～2時間 C：2～3時間 D：3時間以上	0	2	0	0	0
(18)	悩み事があったらどうしますか。 A：先生に相談する B：友人に相談する C：家族に相談する D：自分で調べる E：そのままにしておく	A1	B2	C1		
(19)	意見があれば、書いてください。					

令和7年度 北海道帯広聾学校 学校評価（保護者）集計

配布数 14

評価項目：A：よくあてはまる B：あてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない

回収数 14

回収率 100%

評価項目		A	B	C	D	E
		4	3	2	1	0
(1)	学校ではいじめがなく、子どもは、楽しく学校に通っている。	14	0	0	0	0
(2)	学校は、学校教育目標や年度の重点などをわかりやすく伝えている。	13	1	0	0	0
(3)	学校は、保護者の願いに応えようと努力している。	14	0	0	0	0
(4)	学校は、家庭への連絡などを適切に行っている。	13	1	0	0	0
(5)	学校は、保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	12	2	0	0	0
(6)	子どもの指導についての話し合いが、担任とよくできている。	13	1	0	0	0
(7)	学習の様子は、学級通信や連絡帳、授業参観、懇談などをおして知ることができている。	13	1	0	0	0
(8)	学校は、家庭と連携して、子どもの健康保持増進に努めている。	13	1	0	0	0
(9)	学校は、家庭と連携して、子どもの事故防止に努めている。	13	1	0	0	0
(10)	学校は、子どもに合わせたコミュニケーションの方法で指導を行うように努めている。	13	1	0	0	0
(11)	学校の日課は、子どもの実態に合わせている。	13	1	0	0	0
(12)	授業は、子どもの実態に合わせてわかりやすく行われている。	13	1	0	0	0
(13)	通知票は、子どもの指導のめあてや経過がわかるように書かれている。	14	0	0	0	0
(14)	学校の施設・設備は、学習環境面で充実している。	10	4	0	0	0
(15)	学校は、子どもの実態にあった食育指導に努めている。	14	1	0	0	0
(16)	学校は、保護者への情報提供に努めている。	12	2	0	0	0
(17)	教職員は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	12	2	0	0	0
(18)	子どもに関するプライバシーがよく守られている。	13	1	0	0	0
(19)	学校からの文書などについて、よく目を通してしている。	11	3	0	0	0
(20)	<p>その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い先生たちばかりで、学校行事なども沢山あり、雰囲気の良い学校に通えて、子供も楽しそうで良かったです。</li> <li>・何も言うことがないくらい、良くしていただき、いつもありがとうございました。</li> <li>・小学部の登校時間が8:30までではなく、8:30からになるといいなあ…と思っています。</li> <li>・今年途中からペーパータオルがなくなりましたが、ハンカチで何度も手を拭くのは不衛生だと感じてしまいます。子どもたちもハンカチを忘れたり、ポケットから出すのがめんどう(?)なのか、ピチヨピチヨのままトイレを出ていて少し気になります。</li> <li>・せっかく学校メール(連絡網)があるので、もっと色々情報を送ってほしいです。テレビ放送や不校時間など、小さなことでも良いので。</li> </ul>					